



共存の概要

- [共存の内容, 1 ページ](#)

共存の内容

共存とは、「同じ仮想化 Business Edition 物理サーバまたはホスト上の専用の仮想マシンでさまざまなコラボレーションアプリケーションを実行すること」を意味します。

Cisco Business Edition 6000 (BE6000M、BE6000H、および BE6000S) および Cisco Business Edition 7000 (BE7000M および BE7000H) とともに販売される Cisco Unified Communications (UC) に加え、シスコでは、このドキュメントで詳述されている条件に従って、シスコおよびサードパーティの幅広い仮想化アプリケーションをインストールすることもできます。

このポリシーは、組み込みの仮想化ソフトウェア ライセンスを使用するすべての Cisco UCS サーバに適用されます。これには、Cisco UC Virtualization Hypervisor、Cisco UC Virtualization Hypervisor Plus、または Cisco UC Virtualization Foundation が含まれます。このポリシーには、新旧の提供されたすべての BE6000S、BE6000M、BE6000H、BE7000M、BE7000H サーバが含まれます。

BE6000M、BE6000H、BE7000M、および BE7000H

Business Edition アプリケーションには、BE6000 および BE7000 ソリューションで明示的に統合されたコラボレーションアプリケーションが含まれます。これらのアプリケーションはサーバにプリロードされていて、通常は BE6000 のスタータ ライセンスと統合されています。BE6000M、BE6000H、BE7000M、および BE7000H サーバにプリロードされている Business Edition アプリケーションは次のとおりです。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unity Connection
- Cisco Unified Provisioning Manager Business Edition (8.x および 9.x リリースのみ)
- Cisco Prime Collaboration Provisioning (10.0 以降のリリースのみ)
- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service

- Cisco Unified Contact Center Express
- Cisco TelePresence Video Communication Server (CSR 11.5 以前のリリースのみ)
- Cisco Expressway
- Cisco TelePresence Conductor
- Cisco TelePresence Server Virtual Machine
- Cisco TelePresence Management Suite
- Cisco Paging Server
- Cisco Emergency Responder
- Cisco Unified Attendant Console
- Cisco TelePresence Content Server (10.6 ~ 11.5 のリリースのみ)

仮想化ソフトウェア ライセンスが組み込まれた BE6000M、BE6000H、BE7000M、BE7000H サーバ（または非 Business Edition の Cisco UCS サーバ）：

- シスコは、上記の Business Edition アプリケーションをすべてサポートします。
- 非 Business Edition アプリケーションは、このドキュメントのすべてのルールに従う場合許可されます。Cisco TAC サポートは、有効でアクティブなメンテナンス契約を含むシスコから購入した製品のみが対象であることに注意してください。非 Business Edition アプリケーション、(3 ページ) を参照してください。

物理サーバ 1 台の BE6000 または BE7000 展開では、最大 3 つのサードパーティ仮想マシンをサーバで実行することができます。より大規模な展開では、物理サーバの台数の最大 3 倍が許可されます。許可された数のサードパーティ仮想マシンは任意の組み合わせで物理サーバに展開することができます。たとえば、物理サーバ 2 台では、6 つの仮想マシンを両方に均等に分配することも、1 台の物理サーバにすべて分配することもできます。

一部の UC アプリケーションでは共存がサポートされません。また、共存のサポートに制限がある場合があります。共存ポリシーについては、www.cisco.com/go/uc-virtualized で各製品のページを参照してください。

その他の一般的な UC 仮想化ルールはすべて適用されます。たとえば、VMware 機能サポートおよび ESXi のサポートされるバージョンなどです。詳細については、次を参照してください。www.cisco.com/go/uc-virtualized。

BE6000S

BE6000S は、BE6000S サーバにプリロードされている次のコア Business Edition アプリケーションをサポートします。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unity Connection
- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service

- Cisco Prime Collaboration Provisioning
- Cisco Paging Server

シスコは、BE6000S サーバでは上記のコア Business Edition アプリケーションのみをサポートします。他のアプリケーション（シスコまたはサードパーティ）は、現在、他の仮想化ソフトウェアライセンスが代用されている場合であっても BE6000S ではサポートされません。

非 Business Edition アプリケーション

非 Business Edition アプリケーションには以下が含まれます。

- BE6000 または BE7000 ソリューションの一部として明示的にリストされていない、www.cisco.com/go/uc-virtualized にリストされている他のシスコ コラボレーション アプリケーション（MediaSense など）。
- ソリューションパートナープログラム（SPP）（以前のコラボレーション向け Cisco Developer Network（CDN） Marketplace Solutions Catalog）に含まれる仮想化されたサードパーティアプリケーション。許可されるすべてのサードパーティアプリケーションの一覧については、[こちら](#)を参照してください。**Technology = Collaboration** を選択します。



（注） Business Edition の組み込みハイパーバイザライセンスがあるコラボレーションカテゴリのサードパーティアプリケーションのみを使用することができます。

- Cisco SolutionsPlus Program によって提供され、コラボレーションを補完する仮想化されたサードパーティアプリケーションについては、http://www.cisco.com/web/partners/pr46/solutions_plus/index.html を参照してください。

サポート対象の非 Business Edition アプリケーションの詳細については、www.cisco.com/go/uc-virtualized の「At a Glance - Cisco Collaboration Virtualization Support」の表にあるアプリケーションリンクを参照してください。

許可されているサードパーティアプリケーションでは、Cisco Unified Communications Virtualization Hypervisor または Cisco Unified Communications Virtualization Foundation ライセンスを使用する BE6000、BE7000、および Cisco UCS サーバ展開で許可される仮想マシンの数には上限があります。

すべての非 Business Edition アプリケーションは、VMware で仮想化して実行できる必要があり、次に示されているシスコ コラボレーションの仮想化ソフトウェア要件を満たす必要があります。http://docwiki.cisco.com/wiki/Unified_Communications_VMware_Requirements。

**重要**

- 1 すべてのアプリケーションが最低で ESXi 6.0 をサポートする必要があり、Business Edition および非 Business Edition コラボレーションアプリケーションでサポートされるバージョンと揃える必要があります。
- 2 サードパーティの非 Business Edition アプリケーションを含む共存展開を実行する場合、デバッグのために必要とみなされるときはホストで実行されている仮想マシンの数を一時的に削減することに同意する必要があります。
- 3 ホストが過負荷であると判断された場合は、ホストで実行されている仮想マシンの数を恒常的に減らす必要があります。
- 4 これらの要件に同意できない場合、Cisco TAC は共存展開をサポートしません。
- 5 サードパーティ製アプリケーションのサポートは、個々のアプリケーションのベンダーから提供されます。